

名 称：竹原市歴史的風致維持向上計画
主 体：竹原市
期 間：平成24年度～令和4年度

はじめに

0-1 計画策定の背景

江戸時代に日本有数の塩の産地として名をはせた竹原。塩田経営を基盤とし、質見世（金融業）、酒造業、廻船業などの多角経営に成功した富裕層は、吉井家住宅に代表されるように本瓦葺・漆喰塗籠で、多様な形式が見られる格子など意匠に優れた大規模な屋敷や、西方寺や照蓮寺などの神社仏閣に財を投資し、重厚な町並みを形成していった。

この町並みは、東側の寺山と南側の鎮海山の山並みと一体となり、美しい歴史ある景観を作りだしている。この町並みが昭和57年(1982)12月に重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けた。先人が築いた歴史風情を醸し出す町並みは、今日まで人々の生活の場として大切に保存され、訪れた人を癒す場になるとともに、竹原の貴重な歴史・文化を語る重要な場所となっている。

しかし、歴史的建造物が大切に保存されてきている一方、少子高齢化の進行により、空き家・空き地・倒壊の危険性のある建物が増加しているとともに、生活スタイルの変化により、現代的な家屋や駐車場が増え、連続性のある町並みの維持、歴史的景観の保全が困難になってきている。

この先人たちが守り続けた貴重な文化財や景観を維持・向上させ、歴史風情を後世に継承していくためには、今まで以上に住民・行政が文化財の保護について方向性を共有し、協力しながら取り組むことが必要である。

0-2 計画策定の意義

平成20年(2008)に施行された「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」(平成20年法律第40号。以下「歴史まちづくり法」という。)の趣旨は、平成21年(2009)に策定した本市の第5次総合計画のめざす将来像「住み良さ実感 瀬戸内交流文化都市 たけはら」の実現に向けた基本目標である「守り 活かす 歴史文化のまちづくり」の方向性と合致する。

そのため、この方向性に沿った具体的な取組と事業を本計画で推進することにより、めざす将来像「住みよさ実感 瀬戸内交流文化都市 たけはら」をより効果的に実現していく。

0-3 計画策定の体制及び経過

(1) 計画策定の体制

本計画の策定に当たっては、当初、建設産業部産業文化課観光文化室及び建設産業

部都市整備課を事務局として取り組んできた。平成22年(2010)4月、文化財保護の体制を強化するとともに、文化関連の公民館・図書館・美術館などを集約し、文化行政を総合的に推進するため、まちづくり推進課内に文化生涯学習室を創設し、計画の策定を進めてきた。

さらに、計画策定体制及び庁内連携の強化を図るため、関係各課の係長及び担当者で組織する「竹原市歴史的風致維持向上計画推進会議プロジェクトチーム」を立ち上げ、計画素案の提案を行い、副市長を会長、教育長を副会長、各部長、関係各課長で構成する「竹原市歴史的風致維持向上計画推進会議」において協議調整し、計画案を策定した。

また、計画策定体制の強化を図るため、「竹原市歴史的風致維持向上計画策定協議会」を設置し、協議をしてきたところであるが、平成24年(2012)2月、構成員の見直しを行い、歴史まちづくり法第11条第1項に基づく「竹原市歴史的風致維持向上計画協議会」を新たに設置した。

計画案を基に「竹原市歴史的風致維持向上計画協議会」で協議を行い、パブリック・コメントによる市民意見の聴取を経て策定した。



平成24年(2012)3月29日 第1回竹原市歴史的風致維持向上計画協議会（竹原市庁舎 3階 第2委員会室）

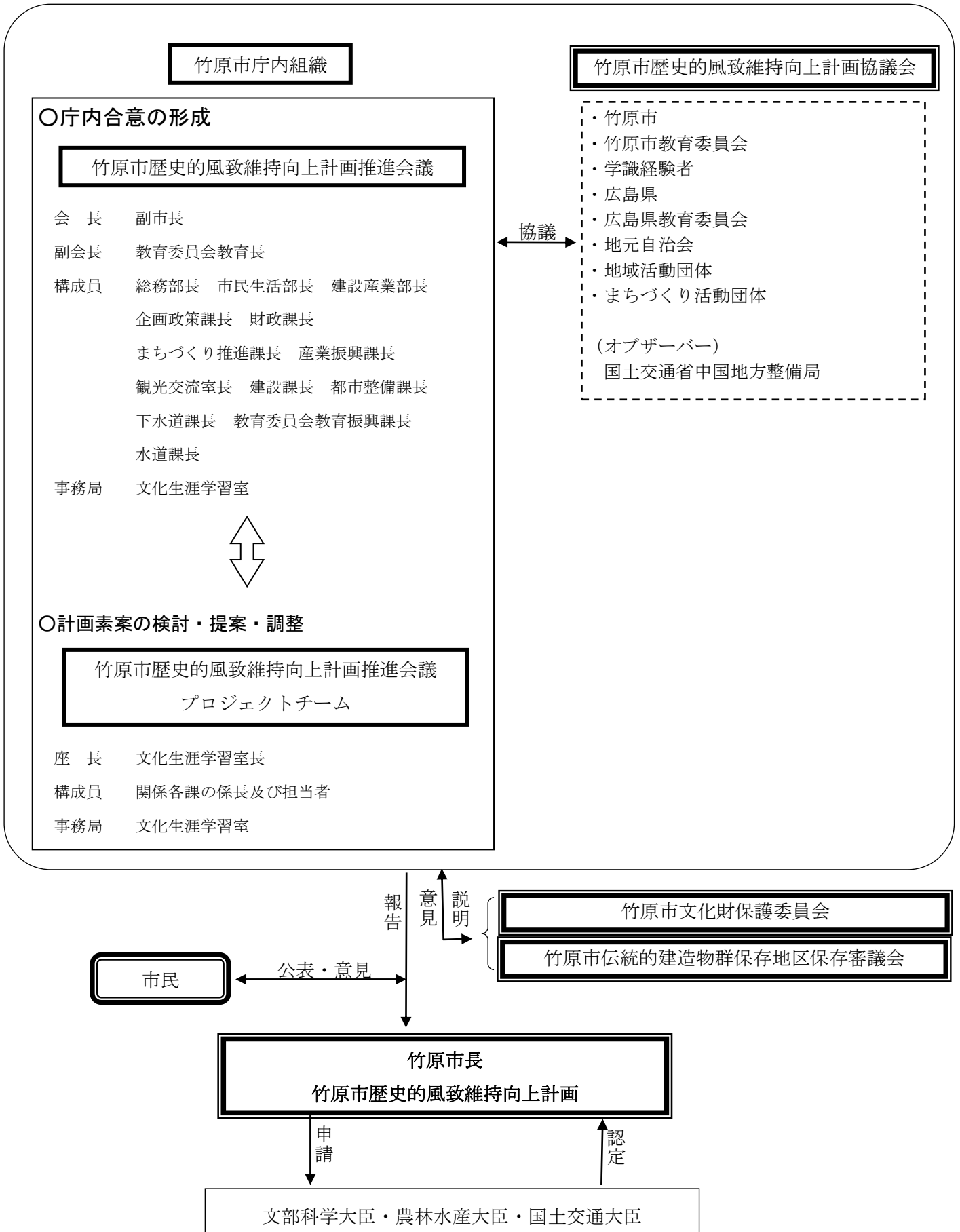
竹原市歴史的風致維持向上計画策定協議会 委員 (H21. 1. 6~H22. 3. 31)

	名 前	所 属	備 考
1	友久 秀紀	竹原市副市長	竹原市
2	山内 攻	竹原市文化財保護委員会委員長	学識経験者
3	竹鶴 壽夫	竹原市伝統的建造物群保存地区保存審議会会長	
4	頼 直二郎	重要文化財 春風館頼家住宅 所有者	重要文化財所有者
5	岡田 文夫	竹原地区自治会連合会会長	その他 (地元市民団体)
6	三藤 芳輝	竹原町並保存会事務局長	
7	佐渡 泰	NPO法人ネットワーク竹原理事長	
8	栗栖 繁	広島県都市局都市技術総括監	広島県
9	向田 裕始	広島県教育委員会事務局生涯学習部文化課長	広島県教育委員会
	松井 康治	国土交通省中国地方整備局建政部都市・住宅整備課長	オブザーバー
事務局 竹原市建設産業部 都市整備課 (都市計画、景観所管課) 産業文化課観光文化室 (文化財保護所管課)			

竹原市歴史的風致維持向上計画協議会 委員 (R2. 7. 1 現在)

	名 前	所 属	備 考
1	新谷 昭夫	竹原市副市長	竹原市
2	高田 英弘	竹原市教育委員会教育長	竹原市教育委員会
3	藤田 盟児	奈良女子大学生活環境部教授 竹原市文化財保護委員会委員 竹原市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員	学識経験者
4	柴田 久	福岡大学工学部教授	
5	橋本 清勇	広島国際大学看護学部准教授 竹原市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員	
6	上村 信行	広島大学財務・総務室助教 竹原市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員	
7	棚橋 久美子	広島国際学院大学学術研究員	
8	高野 信行	竹原市文化財保護委員会委員長	
9	三藤 芳輝	竹原市伝統的建造物群保存地区保存審議会会長 竹原町並保存会会長	
10	鴨宮 弘宜	竹原地区自治会連合会会長	まちづくり団体
11	梅谷 承孝	竹原町並保存会副会長	
12	栢 英彦	広島県土木建築局都市計画課長	広島県
13	白井 比佐雄	広島県教育委員会事務局管理部文化財課長	広島県教育委員会
	赤星 剛	国土交通省中国地方整備局建政部都市調整官	オブザーバー
事務局 竹原市教育委員会文化生涯学習課			

計画策定のフローチャート



(2) 庁内の連携体制

竹原市においては、まちづくり行政と文化財保護行政の円滑な連携を図るため、平成18年度から文化財保護に関する事務について、市長部局が教育委員会の事務を補助執行しており、文化財の保護に関し根幹を成す次の事項については、教育委員会において事務を処理することにより、文化財保護行政の独立性を担保している。

- ① 竹原市指定文化財の指定及びその保持者又は保持団体の認定
- ② 竹原市指定文化財の指定の解除及びその保持者又は保持団体の認定の解除
- ③ ①又は②に関する竹原市文化財保護委員会への諮問
- ④ 補助執行させる事務に係る教育委員会規則等の制定又は改廃に関する事務
- ⑤ 補助執行させる事務に係る法令又は条例等に基づく教育委員会の所管に属する各種委員会等の委嘱又は任命に関する事務
- ⑥ 竹原市歴史民俗資料館設置及び管理条例（昭和55年(1980)竹原市条例第22号）及び竹原市伝統的建造物設置及び管理条例（平成16年(2004)竹原市条例第2号）に定める竹原市歴史民俗資料館及び竹原市伝統的建造物の管理運営に関する事務のうち、教育委員会が特に重要と認められるものについては、これを教育委員会に諮らなければならないこととする。
- ⑦ 文化財保護に関する予算の調製について、教育委員会に諮らなければならないこととする。

また、前述のとおり、関係各課の係長及び担当で組織する「竹原市歴史的風致維持向上計画推進会議プロジェクトチーム」、さらには、副市長と教育長をトップに、各部長、関係各課長で構成する「竹原市歴史的風致維持向上計画推進会議」において庁内の連携を図り、策定を進めた。

(3) 計画策定の経過

■平成21年(2009) 2月16日(月)

第1回 竹原市歴史的風致維持向上計画策定協議会

■平成22年(2010) 9月28日(火) 庁内会議

■平成22年(2010)10月20日(水) 庁内会議

■平成23年(2011) 7月21日(木)

第1回 竹原市歴史的風致維持向上計画推進プロジェクトチーム会議

■平成23年(2011) 8月10日(水)

第2回 竹原市歴史的風致維持向上計画推進プロジェクトチーム会議

■平成23年(2011)10月25日(火)

第3回 竹原市歴史的風致維持向上計画推進プロジェクトチーム会議

■平成23年(2011)11月11日(金)

第4回 竹原市歴史的風致維持向上計画推進プロジェクトチーム会議

■平成23年(2011)12月19日(月)

- 第5回 竹原市歴史的風致維持向上計画推進プロジェクトチーム会議
- 平成23年(2011) 12月27日(火)
- 第1回 竹原市歴史的風致維持向上計画推進会議
- 平成24年(2012) 1月23日(月)
- 第6回 竹原市歴史的風致維持向上計画推進プロジェクトチーム会議
- 平成24年(2012) 1月27日(金) 庁内会議
 - 平成24年(2012) 3月9日(金)
- 第7回 竹原市歴史的風致維持向上計画推進プロジェクトチーム会議
- 平成24年(2012) 3月19日(月)～4月2日(月) パブリック・コメント
 - 平成24年(2012) 3月21日(水) 竹原市伝統的建造物群保存地区保存審議会
 - 平成24年(2012) 3月22日(木) 竹原市文化財保護委員会
 - 平成24年(2012) 3月27日(火)
- 第2回 竹原市歴史的風致維持向上計画推進会議
- 平成24年(2012) 3月29日(木)
- 第1回 竹原市歴史的風致維持向上計画協議会(法定協議会)
- 平成24年(2012) 4月13日(金)
- 文部科学大臣・農林水産大臣・国土交通大臣への申請
- 平成24年(2012) 6月6日(水) 竹原市歴史的風致維持向上計画が認定
 - 平成24年(2012) 9月19日(水)
- 竹原市歴史的風致維持向上計画の計画変更の届出
- 平成26年(2014) 3月26日(水)
- 竹原市歴史的風致維持向上計画の計画変更の届出
- 平成27年(2015) 3月31日(火)
- 竹原市歴史的風致維持向上計画の計画変更の届出
- 平成29年(2017) 3月7日(火)
- 竹原市歴史的風致維持向上計画の計画変更の届出
- 平成30年(2018) 3月14日(水)
- 文部科学大臣・農林水産大臣・国土交通大臣への変更申請
- 平成30年(2018) 3月29日(木) 竹原市歴史的風致維持向上計画が変更認定
 - 平成31年(2019) 3月1日(金)
- 竹原市歴史的風致維持向上計画の計画変更の届出
- 令和2年(2020) 3月4日(水)
- 文部科学大臣・農林水産大臣・国土交通大臣への変更申請
- 令和2年(2020) 3月24日(火) 竹原市歴史的風致維持向上計画が変更認定
 - 令和3年(2021) 3月3日(水)
- 竹原市歴史的風致維持向上計画の計画変更の届出



平成24年(2012)6月6日認定式